



神奈川県  
川崎図書館

令和元年度

# 要 覧

---



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

## 基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

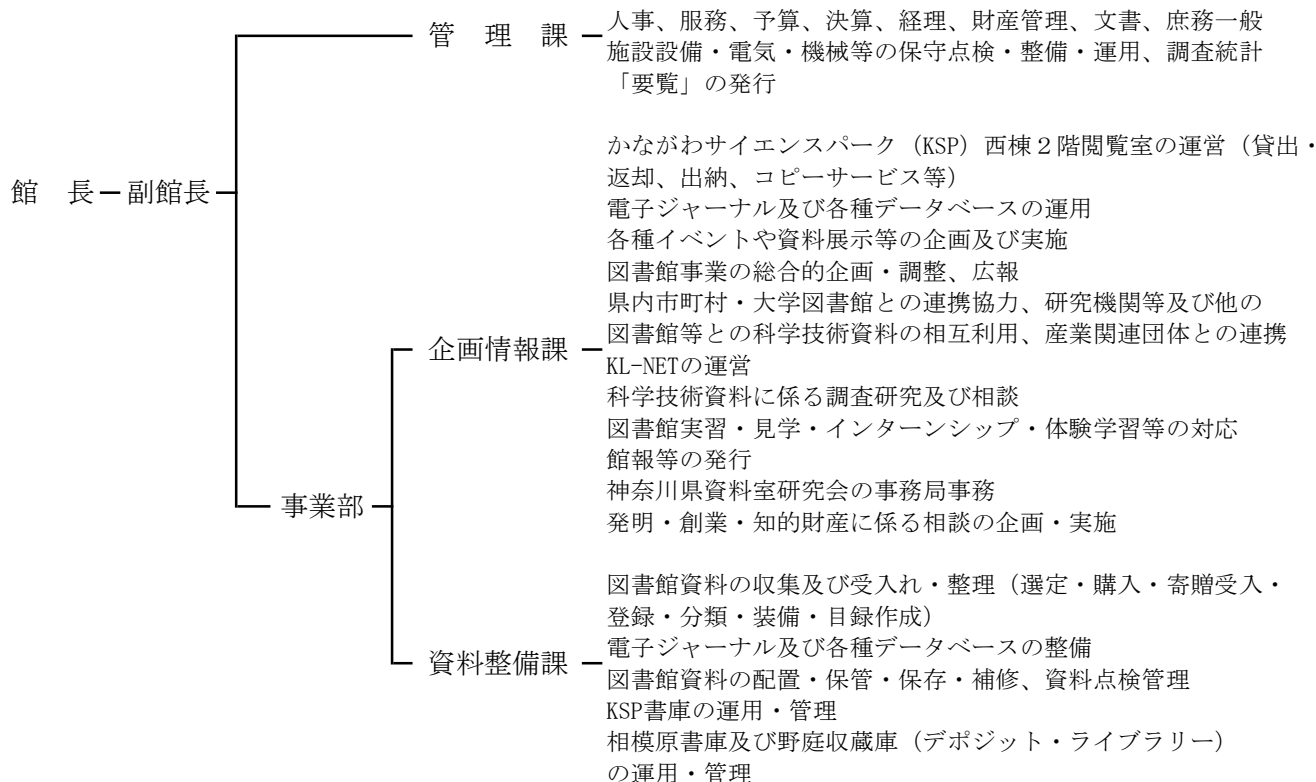
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、  
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

# 目 次

1	組 織	1
2	沿 革	2
3	施設の概要	4
4	令和元年度 県立川崎図書館の取組み	6
5	令和元年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	10
6	予算・決算	11
7	平成30年度 事業の概況	12
8	平成30年度 講座等実施状況	24
9	平成30年度 県立川崎図書館の活動評価	31
事 業 統 計 (平成30年度)		
第 1 表	部門別蔵書冊数	36
第 2 表	逐次刊行物保有状況	36
第 3 表	電子ジャーナル等資料の保有状況	36
第 4 表	開館日数・入館者数	37
第 5 表	レファレンス件数	37
第 6 表	書庫内資料の利用数	38
第 7 表	電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	39
第 8 表	個人貸出登録者数	40
第 9 表	個人貸出冊数	40
第 10 表	リクエストサービス	40
第 11 表	複写サービス	41
第 12 表	講習会・講座・講演会等	41
第 13 表	知的財産関連相談件数	42
第 14 表	視聴覚資料の貸出状況	43
第 15 表	他の図書館等への貸出状況	43
第 16 表	年度別蔵書冊数	44
第 17 表	年度別入館者数・個人貸出冊数	44
	館 内 案 内 図	45

# 1 組織 (令和元年6月1日現在)

## (1) 組織図



## (2) 職員の構成

区分	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任司書	主事	司書	小計	臨時司書	再任用	非常勤	合計	備考
館長・副館長	1	1								2				2	
管理課				*	1	1		2		4				4	*副館長が管理課長職を兼務
事業部	企画情報課			1	1	1	1		1	6	4	1	11	22	部長を含む
	資料整備課				1	1		1		3	2		6	11	
部計			1	2	2	1	2		1	9	6	1	17	33	
合計	1	1	1	2	3	2	2	2	1	15	6	1	17	39	男 8 女 7 (非常勤等 男 2 女 22)
司書有資格者数			1	2	2	1	2		1	9	6		17	32	

## 2 沿革

昭和	33	年	11	月	1	日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置
			同				神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
			同	12	月	20	落成開館式を挙げる
昭和	34	年	1	月	12	日	開館し、館内閲覧業務を開始
			同	3	月	20	附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
			同	5	月	15	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和	35	年	1	月	13	日	社会人に図書の館外個人貸出しを開始
			同	4	月	20	小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
			同	7	月	1	図書資料の複写サービスを開始
昭和	36	年	4	月	16	日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和	39	年	5	月	1	日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和	40	年	9	月	1	日	高校生に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	42	年	1	月	16	日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和	44	年	7	月	16	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和	45	年	8	月	18	日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和	46	年	2	月	25	日	特許庁により公開公報閲覧所に指定
			同	6	月	2	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
			同	7	月	1	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和	47	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
昭和	49	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和	53	年	11	月	17	日	開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
昭和	55	年	4	月	1	日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和	57	年	12	月	16	日	1階改修工事により障害者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和	58	年	4	月	1	日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和	59	年	3	月	31	日	工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
			同	12	月	1	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和	60	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会とが統合され、神奈川県図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
			同	9	月	19	改修工事（空気調和設備全面更新、その他改修）のため休館
昭和	61	年	4	月	19	日	改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
平成	元	年	2	月	15	日	開館30周年記念式典を挙げる
平成	2	年	4	月	24	日	県立図書館において神奈川県立図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）一部稼働
平成	3	年	4	月	16	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）全面稼働
平成	4	年	3	月	31	日	団体貸出しを廃止
平成	5	年	1	月	21	日	特許検索用CD-ROMを導入
			同	3	月	31	理工学文庫を廃止
平成	8	年	9	月	17	日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成	10	年	1	月	7	日	リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成	12	年	3	月	1	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
平成	13	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
			同	6	月	5	ITコーナー（インターネット一般公開）開設
平成	14	年	4	月	1	日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成	16	年	4	月	15	日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成	17	年	4	月	15	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
			同	10	月	1	ビジネス支援室（1階）を開設

平成	18	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
		同					やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1階）、化学文献室（地下1階）を開設
		同			9	月 19 日	生態学コーナー（1階）を開設
平成	19	年	10	月	12	日	ビジネス情報クイックコーナー（1階）を開設
平成	20	年	9	月	12	日	サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
		同			11	月 13 日	開館50周年記念式典を挙げる
平成	21	年	3	月	31	日	生態学コーナー（1階）を廃止
平成	22	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
平成	24	年	3	月	31	日	知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
		同					ビジネス情報クイックコーナー（1階）を廃止
平成	26	年	6	月	25	日	「社史フェア2014」を開催（27日まで）
平成	27	年	9	月	11	日	社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
平成	28	年	11	月	25	日	県立川崎図書館の移転に向けた意見交換会を開催
平成	29	年	10	月	1	日	かながわサイエンスパーク（KSP、川崎市高津区坂戸3-2-1）への移転準備のため一部休館（1階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
		同			11	月 22 日	入館者数1,000万人を達成
		同			12	月 1 日	KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
平成	30	年	4	月	1	日	KSPに移転
		同					神奈川県立図書館組織規則改正により1部3課制
		同			5	月 14 日	移転再開館記念式典を挙げる
		同			5	月 15 日	「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
		同					公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入

### 3 施設の概要

#### (1) 建物

名 称	使用開始年月日	延床面積	所 在 地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000㎡	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク (KSP)
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710㎡	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305㎡	相模原市南区当麻2650-22
野庭収蔵庫	平成15年4月1日	1,491.840㎡	横浜市港南区野庭町1660
合 計	—	4,112.855㎡	—

#### (2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク (KSP)

(ア) 西棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

(イ) R&D棟 同上

イ 相模原書庫 鉄筋コンクリート造

ウ 野庭収蔵庫 同上

#### (3) 西棟

ア 施設 2階 閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット  
カンファレンスルーム、コンサルティングルーム  
合計座席数140席

イ 収蔵資料 (平成31年4月1日現在)

図 書 約65,000冊  
雑 誌 (専門雑誌最新号) 約1,000タイトル

#### (4) R&D棟

ア 施設 2階 事務室、書庫A、書庫B

イ 収蔵資料 (平成31年4月1日現在)

図 書 約28,000冊  
雑 誌 (上記(3)イの雑誌タイトル数を含む) 洋 394タイトル  
和 5,811タイトル

#### (5) 相模原書庫(外部書庫)

ア 施設 4階 アーカイブセンター内

イ 収蔵資料 (平成31年4月1日現在)

図 書 約125,000冊

(6) 野庭収蔵庫(デポジット・ライブラリー)

ア 施設  
北棟3階 事務室 書架(雑誌)  
北棟4階 書庫(図書・雑誌)  
南棟4階 書庫(雑誌)  
計22教室

イ 収蔵資料(平成31年4月1日現在)

図 書 約41,000冊  
雑 誌 洋 1,793タイトル  
和 305タイトル

(7) 旧川崎図書館(除却予定)

名 称	(延床) 面積	所 在 地
土 地	1,252.90㎡	川崎市川崎区富士見2丁目1番4号
建 物	3,550.38㎡	同 上

※土地は都市公園法に基づく公園施設設置許可(令和2年3月末まで)



## 4 令和元年度 県立川崎図書館の取組み

### (1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

### (2) 基本方針（平成 30（2018）年度～令和 3（2021）年度）

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGsの理念をふまえ、人生100歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

- ア 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完しあいながら県立の図書館として一体的な運用を行う。
- イ 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。
- ウ 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を一層強化し、電子ジャーナルによる最先端の情報から専門書、知的財産・規格資料まで、「ものづくり技術」を学び、活かし、拓く資料等の収集、提供を積極的に行なう。
- エ 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。
- オ 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、子ども実験教室、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- カ 生涯を通じた「学び」と研究を可能にするために必要な資料、情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者が ICT（情報通信技術）を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。  
また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生 100 歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。
- キ 図書館利用に障がいのある方々（障がい者、高齢者、外国人など）に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。
- ク 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検（評価）>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

### (3) 令和元年度 重点的取組み

#### ア 円滑な図書館運営の実現

「ものづくり技術」を支える機能に特化した新しい図書館の運営にあたっては、基本方針に基づき、引き続き、県立川崎図書館の新たな魅力や役割等を実現するためサービスが円滑に提供できるように努めるとともに、図書館へのアクセスを向上させるための十分な周知と説明を行う。

#### イ 県内産業団体等との連携の強化

「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関等との連携の強化に努める。

#### ウ 電子ジャーナル等の利用の促進

公共図書館で全国に先駆けて導入した電子ジャーナルや外部データベース等の電子情報の有用性の周知に努め、講演会や出前講習会などを実施し、利用促進を図る。

#### エ 特許・規格・社史の収集強化

「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。

#### オ 資料利活用のための保存機能の強化

貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、資料の保存対策を検討、実施する。

#### カ 行政支援サービス

神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や高校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。

#### キ レファレンスサービス

レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子ジャーナル、オンライン外部データベースの活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、サービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。

#### ク 県民の「学び直し」を応援

人生 100 歳時代に向け、図書館が生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、「大人の理科教室」などの講座を開催するとともに、「子ども科学実験室」などの「学び」の場の提供を行う。

#### ケ 図書館利用に障がいを持つ人々へのサービス

全ての人々が、利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内などの整備に努めるとともに、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の基本的な考え方に基づきサービスの向上を目指す。

#### コ 図書館専門職員の人材育成

県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、経験者選考で採用された職員のノウハウも業務運営に反映するよう努めていく。

サ 60周年記念行事など各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化

60周年記念行事として、さまざまな講演会を開催し記念誌及び推薦図書目録を刊行するなど、各事業を着実に実施するとともに、新たな利用者層を掘り起こすためのPRメディアとして、ポスター、チラシ、ホームページ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種のメディアを使って情報発信に努める。

#### (4) 図書館活動の数値目標

令和元年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

ア 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	① 利用者満足度	88%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	② 入館者	90,000人	年間入館者数
	③ 教育・普及事業への参加者	1,400人	研修、講座や知財相談等の参加者数
	④ インターネットアクセス	4,100,000件	ホームページのアクセス件数
資料・収蔵品	⑤ 活用	1,300点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損件数を減少させる(記述項目)。
調査研究	⑦ 研究成果の公開	40件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会及び研究集会での発表件数
情報発信	⑧ 事業情報の発信	270件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨ 観覧料及び事業等収入(図書館は除く)	—	—
	⑩ 施設点検	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	だれもが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)。
	⑪ 自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数(記述項目)

イ 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集 ・整備	① 社史等の収集	530 件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
	② 破損等資料の修理 件数	90%以上	書き込み、切り取りや汚破損などを発見 した資料のうち修理したものの割合
資料・情 報の提供	③ レファレンスサー ビス	4,500 件	カウンターでの口頭、電話、メール・文 書によるレファレンス件数（県機関、県 立学校等を含む。）
	④ 貸出数	28,000 件	個人利用者への貸出冊数
	⑤ 書庫内資料利用数	37,000 点	書庫の資料を提供した点数
	⑥ 複写枚数	96,600 枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプ リントアウト、郵送複写等
	⑦-1 電子ジャーナル 等の利用件数 (利用申込み)	1,700 件	電子ジャーナルや外部データベース等の 電子情報の利用申込み件数
	⑦-2 電子ジャーナル 等の利用件数 (IEEE、Scopus 文献閲覧件数)	6,000 件	電子ジャーナルや外部データベース等の 電子情報の文献閲覧件数
連携・ 協力事業	⑧ 行政支援サービス	460 件	県機関、県試験研究機関や高校図書館等 への資料提供冊数
	⑨ 県内市町村図書館 等への貸出冊数	6,400 冊	県内市町村図書館等への資料提供冊数
	⑩ 県外図書館への貸 出冊数	200 冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑪ メディア掲載件数	80 件	新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外 部メディアに掲載された件数
	⑫ テーマによる資料 展示回数	40 回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑬ 視察・見学会等実 施件数	80 件	視察や見学会、職業体験、インターンシ ップを受け入れた件数
	⑭ 各団体・機関への 広報実施件数	50 件	産業団体や外部機関等へ出向き、川崎図 書館を広報した、あるいは該当団体・機 関の持つ広報手段を活用した広報件数
図書館運 営の条件 整備	⑮ 自己研鑽及び他館 の研究	360 人	スキルアップに寄与する内部・外部の研 修や講座の参加者延人数

# 5 令和元年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

生涯学習機会の提供	(1) 資料収集・整備	ア、資料・情報の収集	(ア) ものづくり技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
			(イ) 特許公報類、規格類等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。
			(ウ) 社史類の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実に努める。
		イ、資料・情報の整備	(エ) 産業安全・労働衛生DVDの収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するDVDを収集する。
			(ア) 資料の整理、点検、修理、製本	資料点検、修理製本等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。
			(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNii Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。
		ウ、書庫・収蔵庫の運用	(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範囲に検索・入手できる環境を整える。
			(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理、資料配置計画	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫（主に雑誌）及び相模原書庫（図書）に保管する資料について、適切な維持管理を行う。
			(イ) 野庭収蔵庫(科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。
		(2) 資料・情報の提供	ア、基本的サービス	(ア) レファレンスサービス
	(イ) 閲覧、登録、貸出(含む視聴覚資料)、リクエストサービス			2つのカウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全関係視聴覚資料は団体貸出を行う。
	(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス			館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置している。郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
	(エ) 基本オンラインデータベースサービス			基本情報を入力する手段であるJDreamIII・CiNii(科学技術に関する論文検索)、日経テレコン・官報情報検索サービス(新聞記事検索)、JP-NET・J-PlatPat・Innovation Qt(特許検索)、Brand Mark Serach(商標検索)を提供する。
	(オ) 障がい者サービス			図書館の利用に障がいのある人が一般の人と同じように情報が入手できるようにするために、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出しサービスを行う。
	イ、特色あるサービス		(ア) 科学技術情報の提供	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。
			(イ) 電子ジャーナルによる情報提供	最先端科学情報へのアクセスができるIEEE Xplore(電気工学等を主とした団体発行の雑誌、会議録)、Scopus(世界最大級の抄録、引用文献データベース)等を提供する。
			(ウ) 知財関係情報の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財ロボット」を活用した知財情報の普及に努める。
			(エ) 社史情報の提供	約19,500冊の会社史を公開している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。
			(オ) ものづくり入門情報等の提供	ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、一般の利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。
	(3) 連携・協力事業	ア、連携・協力	(ア) 行政支援の推進	各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスを行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。
			(イ) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。
			(ウ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。
		イ、関係団体等との連携	(エ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進	県立高校の図書館や県内の大学図書館などへ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。また、電子ジャーナルの利用促進のために、大学等における出前講座を実施する。
			(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	神奈川県資料室研究会は、県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知財部門で構成されている館種を超えたネットワークであり、例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。
			(イ) 知財関係団体等との連絡調整	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関が相互に連携を強化する。弁理士会との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。また、技術士会、中小企業診断士会等との連携に取り組む。
	(4) 広報・普及活動	ア、広報活動	(ウ) 図書館実習、職業体験等の受入れ、見学者への対応	図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。
			(エ) ホームページの運営	展示や講演会などのイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の番書(ブログ風の記事)」「クリッピング!(写真で見る図書館)」など、生き生きとした情報発信に心がける。
			(ア) 展示関連イベントの開催	展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。
イ、講座等開催事業		(イ) ものづくりカフェの開催	平成18年度から開催を続け、気軽に科学技術の専門家と語り合える場として人気のイベントであるサイエンスカフェを引き継ぎ、ものづくりカフェとして開催していく。	
		(ウ) その他各種イベントの開催	資料の調べ方講座、図書館ガイダンス、子ども科学実験室、大人の理科教室、等々魅力的なイベントを開催していく。	
		(ア) 館報の刊行	当館の館報「ものづくり文化」を刊行する。来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館等に配布する。	
ウ、刊行物の発行		(ア) 60周年記念事業の企画実施	川崎図書館開館60周年記念事業として、さまざまな講演会を開催し、記念誌及び推薦図書目録を刊行するなど、各事業を着実に実施する。	
		(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営	両図書館の長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員の研修機会としても機能させる。	
(5) 図書館運営の条件整備		ア、運営状況の点検・評価	(イ) 活動評価の実施、公表	図書館活動について「計画→実施→評価→見直し」の持続的な運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。
			(ウ) 利用調査の実施	図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。
	(エ) 職員の研修		館内整理日を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。	
	イ、施設の整備	(オ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿や、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。	
		(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者にとって快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。県立川崎図書館の財産の適正な維持及び業務の運用に係る効率的な経費の執行を行う。	
		(イ) 環境管理の推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。	
		(ア) 魅力ある新たな図書館像等の検討	県立図書館等と連携し、魅力ある新たな県立の図書館像及び資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。	

## 6 予算・決算

### (ア) 令和元年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	18,395,000		
	財源内訳	雑入	2,000,000	複写サービス
		立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		一般財源	16,375,000	
	図書館事業費	20,299,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 18,103,000 講演会等の実施・連携 2,196,000	
	財源内訳	雑入	58,000	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	20,241,000	
	整備事業費	379,909,000	旧図書館除却工事費 189,000,000	
	内財源	一般財源	379,909,000	
	計		418,603,000	
	財源内訳	雑入	2,058,000	
立替収入		20,000		
一般財源		416,525,000		

### (イ) 平成30年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	15,153,839		
	財源内訳	雑入	299,510	複写サービス
		立替収入	16,542	自動販売機・複写機電気料金立替収入
		一般財源	14,837,787	
	図書館事業費	19,500,022	資料・情報整備費 15,170,509 産業資料充実費 1,259,517 講演会及び調査相談事業費 3,069,996	
	財源内訳	雑入	8,610	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	19,491,412	
	整備事業費	187,390,105	K S P 賃借料、共益費 129,385,683	
	内財源	一般財源	187,390,105	
	計		222,043,966	
	財源内訳	雑入	308,120	
立替収入		16,542		
一般財源		221,719,304		

(参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H30/H26	
当初予算額	維持運営費	28,915,000	29,473,000	29,784,000	29,579,000	18,628,000	64.4%
	図書館事業費	21,634,000	20,672,000	19,758,000	18,884,000	19,988,000	92.4%
	整備事業費	-	-	-	630,704,000	199,334,000	皆増
	計	50,549,000	50,145,000	49,542,000	679,167,000	237,950,000	470.7%
決算額	維持運営費	26,669,215	25,475,085	23,996,259	23,458,745	15,153,839	56.8%
	図書館事業費	23,943,506	21,307,256	20,690,055	18,526,160	19,500,022	81.4%
	整備事業費	-	-	-	465,852,694	187,390,105	皆増
	計	50,612,721	46,782,341	44,686,314	507,837,599	222,043,966	438.7%

## 7 平成 30 年度 事業の概況

平成 30 年度は、5 月 15 日に再開館し、移転後のサービスを開始した。また、平成 29 年度は移転作業のため、10 月より一部サービスの休止、12 月より全館休館となっている。事業概況の数値などは、比較が難しいものも多い。

### (1) 資料収集・整備

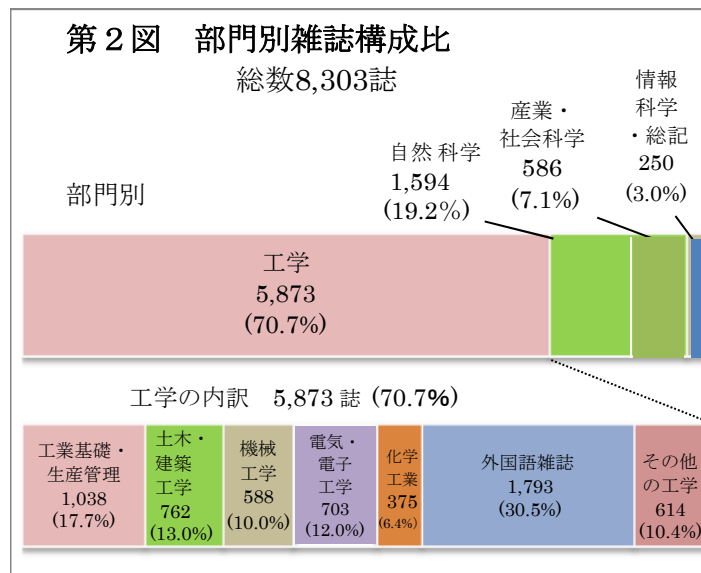
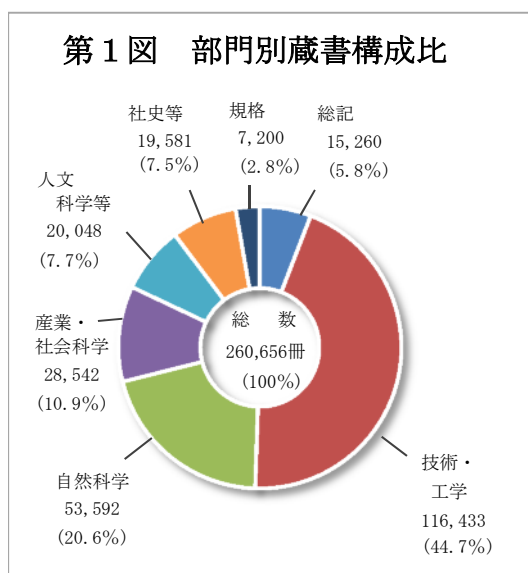
#### ア 資料・情報の収集

##### (ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、年報、論文集等)の収集

###### a 図書

平成 31 年 3 月末現在の蔵書冊数は 260,656 冊で、前年度に比べて 1,819 冊の増加となっている。図書の部門別蔵書構成比は第 1 図のとおりである。受入れ冊数 2,265 冊(前年度 1,701 冊\*移転作業のため例年より少ない。)のうち 64%が寄贈によるものとなった。

また昨年度と同様、平成 28 年度から継続して所在不明となっていた図書 134 冊、平成 27 年度に貸出して回収不能となった図書 22 冊、弁済図書 1 冊を除籍した。加えて、不用図書 8 冊、県内市町村図書館への無償譲渡 121 冊を除籍し、県立図書館へ 148 冊の管理換え等を行った。これにより、払出し冊数は 446 冊(前年度 3,504 冊)となった。(p. 36 事業統計第 1 表 参照)



###### b 逐次刊行物類

雑誌類の平成 31 年 3 月末現在の所蔵タイトル数は 8,303 誌となっている。これは、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌を含んでいるため、継続受入誌はこのうち 1,604 誌(前年度 2,017 誌)である。主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁、企業等の発行する科学・技術専門雑誌などを収集している。

外国語雑誌の所蔵タイトル数は内数として2,187誌で、その内訳は、購入2誌、野庭収蔵庫保管分（デポジット・ライブラリー）1,793誌、日本化学会等からの寄贈389誌となっている。雑誌の部門別構成比は第2図のとおりである。

また、年々電子化される雑誌が増えてきており、平成30年度に契約した電子ジャーナルの件数は10件となった。（今年度より、雑誌の外数としてカウントすることとした。）

例年と同様に、短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌390誌（CSR347誌など）を払い出した。また「ものづくり情報ライブラリー」となって児童サービスを終了したことに伴い、児童雑誌9誌を県立図書館に管理換えした。

新聞は37紙で、そのうち継続受入紙は、リクエストによる寄贈依頼なども行った結果、購入は一般紙を含めた6紙、寄贈による収集は26紙となった。（p.36 事業統計第2表、第3表のA 参照）

#### (イ) 特許公報類、規格類等の収集

特許公報関係の解説書・活用事例に関する図書類の収集を行った。

また、規格資料については「所蔵規格資料リスト」を図書館ホームページに掲載し、利用者への便宜を図っている。主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区 分		保 有 状 況
外国規格	ASTM(米国材料試験協会規格)	2018年版 旧年版もあり
	DIN(ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部（英訳版も一部所蔵）
国内規格	JIS(日本工業規格)	全分野(A～Z)所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック(2018年版が最新)、英訳JISハンドブックも所蔵(2016年刊行分が最新)
	JEC(電気学会規格)	大部分所蔵(廃止も一部所蔵)
	JEM(日本電気工業会規格)	追録あり 2018年更新分まで
	JASO(自動車技術会規格)	2017年版が最新

#### (ウ) 会社史、経済団体史、公社・公団史、労働組合史の収集

全国有数との評価を得ているコレクションであり、積極的に収集を行った。特に本年度は、企業の研修施設の閉鎖に伴い約100冊の寄贈をいただいたため、寄贈冊数が560冊と例年より多くなった。購入による収集は7冊で、平成30年度の受け入れ数は569冊、所蔵総数は19,581冊となった。（p.36 事業統計第1表 参照）

#### (エ) 産業安全・労働衛生、ビジネス関連ビデオ・DVDの収集

平成30年度は、購入で1本を受け入れた一方で、汚破損のため3本を除籍した。

平成31年3月末の所蔵は1,587本となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用315本（ビデオ238本、DVD77本）、（財）神奈川中小企業センターより寄贈されたビデオ（約1,200本）とその他の寄贈ビデオ・DVDを合わせた個人貸出用1,272本となっている。（p.36 事業統計第3表のイ 参照）



## イ 資料・情報の整備

### (ア) 資料の整理、点検、修理、製本

平成 30 年 2 月から 3 月にかけての移転時に全資料の検収作業を行ったので、平成 30 年度は資料総点検を行わなかった。

平成 30 年 3 月に相模原書庫に図書を移設した際に、図書の所在データを基に照合と点検を行ったことから、同書庫に保管している図書については、当面、点検は行わない予定である。

### (イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPAC およびホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。所蔵目録の更新は、「科学技術系外国語雑誌目録」は年 2 回、「産業安全・労働衛生ビデオ所蔵目録」は年 1 回、「所蔵規格資料類リスト」は逐次、行っている。

### (ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供している。平成 30 年度は、神奈川県に関する文献 323 件（県内新聞記事 19 件、県内文献 304 件）の新規データ入力を行った。また、「利用者の声」の要望を受けて担当者会議を開催、これまで行ってこなかった過去のデータの遡及修正（主に所蔵館の変更）を計画的に行うことを決定した。当館では平成 31 年 1 月から作業を開始し、平成 30 年度は県内新聞記事 1,936 件、県内文献 255 件の修正を行った。

## ウ 書庫・収蔵庫の運用

### (ア) KSP 書庫及び相模原書庫の運用・管理

移転を機に、旧川崎図書館に所蔵していた資料は KSP と相模原書庫の 2 ヶ所に保管することとなった。このうち KSP 書庫には、当初、雑誌 6,555 タイトル、新聞、及び備品図書や書庫内社史等の図書約 27,000 冊を配架した。相模原書庫には約 125,000 冊の図書を箱保管している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日 12 時までに依頼されたものを 16 時までに提供する体制を組んでいる。平成 30 年度の利用冊数は、3,272 冊であった。（p.38 事業統計第 6 表のイ 参照）

### (イ) 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業情報センター等との協力により、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。平成 30 年度は 4 社から、所蔵タイトルの継続分の寄贈を受けた。現在の所蔵タイトル数は 1,793 誌である。その他に、図書約 41,000 冊、和雑誌 305 誌もある。

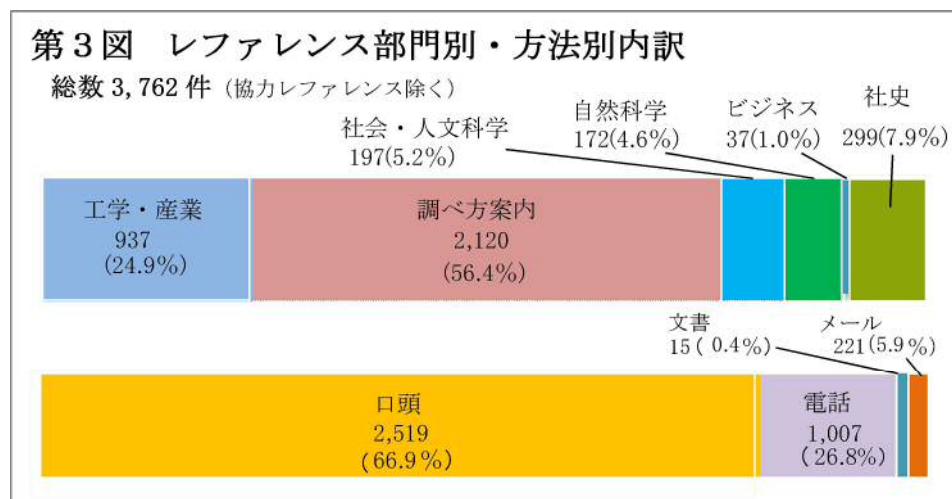
宅配により本館への資料配送を行い、閲覧及び複写の利用に供する形をとっている。平成 30 年 9 月からは、派遣職員が週 2 回（火・金曜）現地勤務する体制となった。利用冊数は 863 冊（平成 29 年度 495 冊）、複写枚数は 978 枚（同 697 枚）だった。複写枚数のうち 95%は洋雑誌であった。（p.38 事業統計第 6 表のウ 参照）

## (2) 資料・情報の提供

### ア 基本的サービス

#### (ア) レファレンスサービス

平成 30 年度のレファレンス受付件数は 3,822 件（協力レファレンス 60 件を含む。）で、前年度比 25.9%減となった。当館の特色である科学技術や特許、規格に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録、広く公開した。レファレンスの部門別・方法別内訳は第 3 図のとおりである。（p. 37 事業統計第 5 表 参照）



#### (イ) 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

平成 30 年度の入館者数は 68,892 人（一日平均 266 人）で前年度比 21.7%の減となった。（p. 37 事業統計第 4 表 参照）

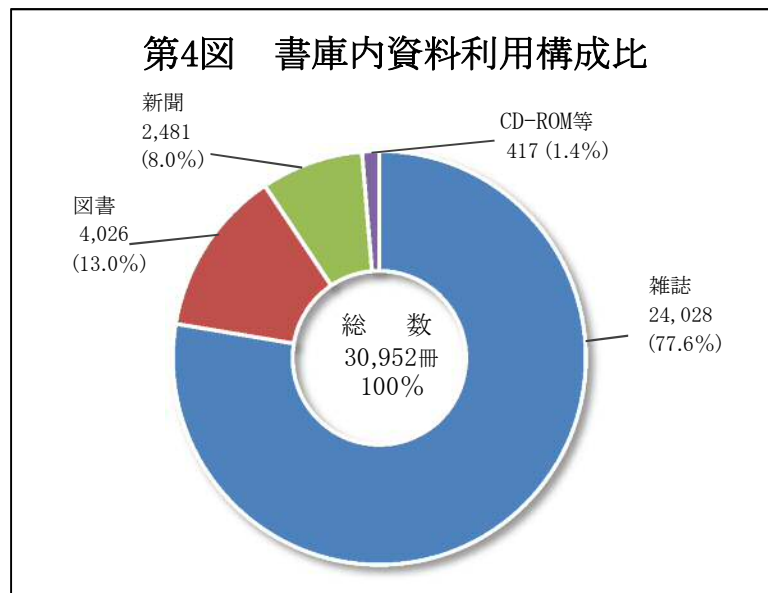
個人の新規登録者は 1,735 人で前年度比 159.7%増、貸出は図書 22,461 冊で前年度比 33.7%増、視聴覚資料の個人貸出は 1,514 点で前年度比 14.6%減となった。

なお、内訳は県立図書館からの視聴覚資料取り寄せが 1,504 点と、大半を占めている。（p. 40 事業統計第 8 表、第 9 表、p. 43 第 14 表の ア 参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生のビデオ・DVD について、登録団体は 146 団体（うち新規登録者は 67）、貸出は 174 件（ビデオ 56 点・DVD 386 点）で前年度比 28.1%減、上映回数は 807 回で前年度比 16.9%減、参加人数は 17,326 人で昨年度比 23.7%減となっている。ビデオから DVD への更新がなかなか進まないこともあり、利用も減少傾向が続いている。（p. 43 事業統計第 14 表の イ 参照）

書庫内資料利用の総数は 30,952 冊で前年度比 28.2%の減となった。書庫内資料利用の 77.6%が雑誌である。なお、今年度から図書付録の電子媒体や逐次刊行物の CD-ROM 版等も書庫内資料利用数に含めることとした。書庫内資料の利用構成比は第 4 図のとおりである。（p. 38 事業統計第 6 表 参照）

リクエストサービスは 5,273 件で前年度比 40.5%の増となった。（p. 40 事業統計第 10 表 参照）



**(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス**

複写サービスの総計は申し込み 3,442 人、複写枚数 80,491 枚で前年度比人数は 22.5%減、枚数は 39.6%減となった。館内利用も、郵送等による在宅利用文献複写サービスも減となった。(p.41 事業統計第11表 参照)

宅配貸出サービスは、55 冊で前年度比 9.8%減少した。

**(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス**

電子ジャーナル・オンラインデータベース利用人数は 1,461 人で前年度比 435.2%増となった。

新規に導入した主なものでは、電気・電子工学・コンピュータサイエンス分野の電子ジャーナル「IEEE Xplore 限定メニュー版」(米国電気電子学会)、世界最大級の抄録・引用文献データベース「Scopus」(エルゼビア社)、特許関係データベース「Innovation Q Plus」(米国電気電子学会および IP.com)、「Brand Mark Search」(日本特許データベースサービス社)などで、これらが牽引した形で、前年度から継続で提供しているコンテンツの利用者数が概ね増えた。

継続して提供している「JP-NET」(日本特許データベース)、「J-PlatPat」(工業所有権情報・研修館)、「日経テレコン 21」(日本経済新聞社)、「JDreamIII」(ジーサーチ)、「CiNii」(国立情報学研究所)、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」の 6 タイトルの利用者数合計は 613 人で、前年度比 124.5%増となった。(p.39 事業統計表第7表の ア 参照)

また、利用状況の他の指標としての文献閲覧件数は、「IEEE Xplore 限定メニュー版」1,468 件、「Scopus」1,278 件の合計で、2,746 件であった。(p.39 事業統計表第7表の イ 参照)

**(オ) Wi-Fi 利用サービス**

新規に Wi-Fi を導入し、利用者が所有する端末からインターネット接続ができるようにした。申込み制でパスワードを発行するなどセキュリティの強化に努めた。平成 30 年度は 1,787 件の申込みがあった。

**(カ) 障がい者サービス**

図書館利用に障がいのある県民のために、図書の郵送貸出サービスを行って

るが、平成 30 年度には利用申込がなかった。

障がい者サービスの掲示の整備を行い、一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会により「耳マーク」の使用許諾を得ている。

また、カウンターには、筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置し、拡大読書器を更新した。

## イ 特色あるサービス

### (ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。さまざまな講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等での展示を行った。

(p. 24 平成 30 年度 講座等実施状況 参照)

### (イ) 知財関係情報等の提供

知財関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、「J-PlatPat」(工業所有権情報・研修館)や米国特許商標庁、欧州特許庁のサイト、日本パテントデータサービス(株)が提供する特許情報データベース(JP-NET)による特許情報の提供を行った。また、川崎市の「かわさき知的財産スクール」(計 6 回)を後援した。関東経済産業局主催による「戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー」も 1 回開催し、33 名の受講者があった。神奈川県弁護士会、日本弁理士会関東支部(現 関東会)の後援により「図書館で学ぶ知的財産講座」を 2 回開催し、34 名の受講者があった。相談事業としては、「発明相談」は月 2 回、一般社団法人神奈川県発明協会の協力を得て、10 件の相談があった。平成 30 年度から開始した「知的財産相談」は月 2 回、日本弁理士会関東支部の協力を得て、9 件の相談があった。「創業・経営相談」は月 2 回、公益社団法人けいしん神奈川の協力を得て、7 件の相談があった。

さらに、日本弁理士会関東支部(現 関東会)との連携により新たに「企業関係者と弁理士の知財研究会」を開始し、9 月、11 月、1 月、3 月に開催した。

「産業関係団体からの推薦図書コーナー」では、川崎商工会議所・けいしん神奈川等の 7 団体から推薦された図書を購入し、展示した(2 回)。推薦図書コーナー並びには、KSP・KISTEC との連携による棚を設け、KSP の刊行物や KISTEC の教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。

(p. 24 平成 30 年度 講座等実施状況、p. 42 事業統計表第 13 表 参照)

### (ウ) 社史情報の提供

全国有数との評価を受けている社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

社史編纂担当者を対象とする社史編纂サポートセミナー(旧、社史ができるまで講演会)は 3 回開催した。新規事業として、会社の歴史に興味を持てるように「講演会・企業の足跡を知る」を 3 回開催した。また、5 年目となるイベントとして「社史フェア 2018」を開催した。2017 年に刊行された 225 点の社史を、カンファレンスルームに簡単な解説を付けて平置きし、手にとって見てもらえるよう工夫し、4 日間で 216 名の入場があった。(p. 24 平成 30 年度 講座等実施状況 参照)

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」は6回刊行した。(p.20 (4)ウ 刊行物の発行 参照)

ホームページでは、特色のある社史を写真と簡単な文章で紹介する「すごい社史」を新規に開設し、100件以上の社史を取りあげた。また、社史コーナーの書架を写真で見られるようにした「バーチャル社史室」を移転後の書架にあわせて撮り直し公開した。

#### (エ) ものづくり入門資料等の提供

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。新規に、ものづくりに関連ある漫画も整備して提供している。

また平成31年3月より、簡便なビジネス書をブックトラックに集め、「昼読<ひるどく>コーナー」として提供を開始した。

### (3) 連携・協力事業

#### ア 連携・協力

##### (ア) 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通し、県内公共図書館への資料提供数は5,642冊であり、前年度に比べて48.3%増となった。内訳は県立図書館1,231冊、市町村立図書館1,427冊、横浜西口カウンターに2,984冊である。また県立図書館から2,123冊、県内市町村立図書館から127冊借り受け、利用者に提供した。

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。

(p.43 事業統計第15表、p.40 事業統計第10表、p.22 (5)ア(オ) 職員の研究と発信 参照)

##### (イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館に188冊を貸し出し、また35冊を借り受けた。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。

(p.40 事業統計第10表、p.43 第15表 参照)

##### (ウ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努め、貸出冊数は78冊と前年に比べ34.5%増となった。また、県立図書館が企画する高等学校図書館職員を対象とした研修事業でも、当館職員が講師となり、当館を会場に開催した。

県内大学図書館には県立図書館協力車により41冊貸し出し、前年度比42.3%減となった。(p.43 事業統計第15表 参照)

#### イ 関係団体等業務

##### (ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

総会、理事会(6回)、月例会(11回)を開催した。平成30年10月30日から11月1日に横浜で開催された「第20回図書館総合展」には、ブース出展とフォーラム開催で参加した。刊行物は、「神資研ニュース」年10回、年報「神資研第52号」を発行した。平成30年度末の会員数は、正会員82、賛助会員11、個人

会員 23、合計 116 会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事 1 名(事業部長)、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) 知財関係団体等との連絡調整

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が 1 回、一般社団法人神奈川県発明協会が主催する「神奈川県知財総合支援窓口事業に係る中小企業等支援機関連絡会議」が 1 回開催され、知的所有権センター支部として参加し、関係機関との情報交換等を行った。

(4) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示の実施

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を 4 回開催した。(p. 24 平成 30 年度 講座等実施状況 参照)

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
慶応義塾大学	9 月 4 日～15 日	1 名
相模女子大学	(10 日間)	1 名

b インターンシップ

県の事業として、インターンシップ生を受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
東京学芸大学	8 月 6 日～11 日	1 名
明治大学	(5 日間)	1 名

c 体験学習等

学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
神奈川県立平塚中等教育学校 (見学、レクチャー・実習)	7 月 21 日、8 月 25 日	約 20 名
川崎市立御幸中学校	8 月 23 日	2 名
川崎市立東橋中学校	8 月 28 日	2 名
川崎市立高津中学校	1 月 24 日	2 名
川崎市立川中島中学校	1 月 31 日	2 名

d 社会体験研修

県立高校の教員の研修を受け入れている。平成 30 年度は 5 年経験者研修社会体験研修として、県立相模原中等教育学校教諭 1 名 (8 月 2 日、3 日)、県立

高津養護学校教諭1名（8月15～17日）を受け入れた。

e 見学者の状況

平成30年度は合計で87件、532名の見学者を受け入れた。特徴ある当館の資料やサービスについて関心がある、幅広い見学者が訪れた。

平成30年度は移転後の新しいサービス・施設が注目され、平成29年度の13件、59名を大幅に上回った。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、司書の出番等に情報を掲載し広報に努めた。また、平成30年11月より「ものづくりのための新着情報」の掲載を開始した。

イ 講座等開催事業 (p.24 平成30年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

ものづくりギャラリーでの展示のテーマに関連した講演会を4回開催した。

(イ) ものづくりカフェの開催

科学者などの専門家と県民が気軽に語り合う「ものづくりカフェ」を2回開催した。

(ウ) 各種イベントの開催

a 電子ジャーナル・データベース関連

電子ジャーナルミニレクチャーを月に1回程度行ったほか、電子ジャーナル・データベース関連講座を4回開催した。

b 実験教室の開催

小学生と保護者を対象とした「子ども科学実験室」を、蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか）の協力を得て夏休み（8月）に開催した。また、新規に「大人の理科教室」をNPOブルーアースの協力を得て1回開催した。

c 図書館ガイダンス・見学会

9月には当館での講演会後に参加者を募って図書館ガイダンスを行った。川崎市立中原図書館と合同での見学会の開催や、館内整理日にKSP入居企業等を対象にした特別見学会を開催し、当館の周知に努めた。

ウ 刊行物の発行

(ア) 館報「ものづくり文化」の発行

「科学EYES」より誌名を改めて1回発行した。特集は「ものづくりライブラリー 神奈川県立川崎図書館に期待すること」として、藤嶋昭氏（東京理科大学栄養教授）に特別寄稿していただいたほか、当館関係者らにメッセージなどを執筆していただいた。

(イ) その他定期刊行物の発行

当館の事業等の報告をまとめた「平成30年度要覧」を発行した。また、社史情報を紹介する広報紙「社楽」を6回発行した。

刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
平成 30 年度要覧	A4	42	30	H30. 6 月
館報「ものづくり文化」 第 60 巻 1 号 「ものづくり情報ライブラリー神奈 川県立川崎図書館に期待するこ と」	A4	25	1,000	H31. 3 月
社楽(社史情報紙) Vol. 74 「高津区の社史あります」 Vol. 75 「社史にみる明治 150 年」 Vol. 76 「社史フェア 2018、コメント発表」 Vol. 77 「装丁に、大島紬、肥後緋…」 Vol. 78 「見た目もすごい「すごい社史」」 Vol. 79 「球春到来！球場の歴史をよむ」	A4	各 2 (Vol. 76 は 4)	各 500	H30. 7 月 H30. 8 月 H30. 9 月 H30. 10 月 H31. 1 月 H31. 3 月

(5) 図書館運営の条件整備

ア 運営状況の点検・評価

(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画・実施している。うち 1 回は当館を会場として開催した。職員の研修としても活かされている。

開催日	アドバイザー	テーマ
2 月 14 日 (木) 14:00~16:00	大谷 康晴 氏 日本女子大学 文学部准教授	「図書館員のキャリアと県立図書館」
3 月 14 日 (木) 14:00~16:00	青柳 英治 氏 明治大学 文学部教授	「公開型専門図書館のサービスと人材育成」

※県立図書館との共催事業として実施。2 月 14 日は県立図書館、3 月 14 日は川崎図書館で開催

(イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として、毎年目標数値を掲げ、活動評価を行っている。平成 30 年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目（5 区分 10 項目）および個別項目（5 区分 16 項目）について目標値を設定した。評価基準は、「達成（目標値 $\geq$ 100%）」「ほぼ達成（目標値 $\geq$ 80%）」「未達（目標値 $<$ 80%）」としている。結果は、「達成」が 17 項目、「ほぼ達成」が 2 項目、「未達」が 7 項目であった。（p. 31 平成 30 年度 県立川崎図書館の活動評価 参照）

(ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で 11 月 12 日（月）～11 月 17 日（土）の 6 日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結



果と分析についてはホームページで公開している。

### (エ) 職員の研修

例年、館内整理日に職員向けの研修会「専門家に資料を学ぶ」を1回開催している。平成30年度は「知的財産」をテーマに、穂坂道子氏（弁理士）にレクチャーしていただいた（12月13日）。

外部の英語講師を招いて、図書館でよく使う英語のレクチャーも受けた（11月8日）。その他、館内整理日に館員が担当分野等の研修をする機会を3回設けた。

神奈川県資料室研究会、専門図書館協議会等が主催する研修会に参加して研鑽に努めた。

新採用職員に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

### (オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業、県立の図書館と県立高等学校による連携・協力事業にかかる研修事業などで、当館職員が研修の講師等を務めた。

また、他の図書館関係団体等から依頼を受け、研修講師を務めた。

#### 県立図書館主催

月 日	研修名	テーマ等	講 師
6月20日(水)	市町村図書館等職員 基礎研修（県立図書館）	「県立川崎図書館の機能と役割」	企画情報課 主査 菅井 紀子
8月17日(金)	高校連携事業	説明・見学会	企画情報課 課長 矢島 薫
11月22日(木)	市町村立図書館専門研修	レファレンス	企画情報課 副主幹 高田 高史 主査 菅井 紀子 司書 生田 春菜

#### 他団体主催

月 日	派遣先	テーマ等	講 師
10月26日(金)	石川県立図書館（石川県の公共図書館員等が対象）	レファレンス	企画情報課 副主幹 高田 高史

#### 主な執筆等

雑誌名・巻号・発行年月	テーマ等	執筆者
カレントアウェアネス-E No. 350 (2018. 7. 12) ※Web上に掲載	神奈川県立川崎図書館の移転・再開館について	事業部 部長 古根村 政義
ジャパンナレッジ 図書館員が気になる図書館 (2018. 9. 11、9. 25) ※Web上に掲載	神奈川県立川崎図書館（1）（2）	企画情報課 主査 菅井 紀子

図書館雑誌 No. 1143 (2019. 2)	神奈川県立川崎図書館の移転後の状 況について	事業部 部長 古根村 政義
-----------------------------	---------------------------	------------------

## イ 施設の整備

### (ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

利用者に快適な施設環境を提供するため、空調機関係設備や消防設備の修繕等を実施した。

### (イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、ガス・電気などの省エネルギーや焼却ゴミの削減等に取り組んだ。

## 8 平成 30 年度 講座等実施状況

### (1) 展 示

#### ア ものづくりギャラリー展示

テーマ	内 容	開催期間
「高津区のものづくり」	高津区のものづくり企業について、当館の資料や、高津区役所作成のパンフレット、専修大学遠山ゼミ作成のパネルなどを掲示して紹介した。	5月15日～ 7月11日
「社史にみる明治150年」	戦前の社史の展示や、明治時代に関連する一文（センテンス）を抜き出して短冊にして掲示した。	7月13日～ 9月12日
「人とロボットの調和」	さまざまな次世代のロボットを県内の企業等から借用して、当館の資料とともに展示した。	9月13日～ 12月12日
「人づくりからはじまるものづくり～かなテクカレッジ東部の展示」	かなテクカレッジ東部（東部総合職業技術校）で作製した金属製品、パネルなどを展示した。	12月14日～ 3月30日

#### イ ものづくり入門コーナー・公開書架（低書架）での展示

テーマ	展示期間
藤嶋昭氏と光触媒	5月15日～発行日現在
レオナルド・ダヴィンチの資料	5月15日～発行日現在
川崎図書館の歩み（低書架）	5月15日～発行日現在
野村総研寄贈社史展	6月28日～7月11日
追悼・社史で見る樹木希林	9月28日～10月5日
ノーベル賞 2018	10月2日～21日
追悼・下村脩氏	10月22日～31日
日清食品と「まんぷく」	10月22日～11月12日
下町ロケット・佃製作所で作っているもの	11月12日～12月28日
はやぶさ2のプロジェクト	2月22日～4月24日

#### ウ 社史コーナー展示

テーマ	展示期間
社史屏風	12月14日～4月30日

## エ 社史フェア

開催日時	テーマ等	人数
7月4日(水) 13:00～17:00	社史フェア 2018 2017年刊行の社史、225点の社史をコメント 付きで展示 会場:カンファレンスルーム	51名
7月5日(木) 10:00～17:00		66名
7月6日(金) 10:00～17:00		63名
7月7日(土) 10:00～17:00		36名
計		216名

## オ 図書館協力による展示

貸出先	内容	期間
東久留米市立図書館 (東京都)	「ひとハコ図書館紹介」にて当館司書がセレクトした入門書など20冊を紹介した。	5月19日、20日
大磯町立図書館	ものづくりギャラリーでの展示「社史にみる明治150年」で使用した展示パネル(短冊)と社史54冊を展示した。	10月23日～11月8日
川崎市立図書館	川崎市立の図書館にて、当館の歩み・移転後のサービスなどをまとめたパネルを巡回展示した。 6月19日～7月15日(中原図書館) 8月21日～11月15日(高津図書館) 11月20日～12月8日(川崎図書館) 12月10日～12月28日(多摩図書館) 1月5日～1月31日(麻生図書館) 2月2日～3月1日(宮前図書館) 3月5日～3月31日(幸図書館)	6月19日～3月31日

## (2) 講演会等

### ア ものづくりギャラリー展示関連講演会・イベント

開催日時	テーマ等	参加人数
6月28日(木) 14:00～16:00	高津区にみる町工場と地域住民の共生ー高津区ものづくり企業MAPをたどるー 講師:遠山 浩 氏(専修大学経済学部教授)	34名
6月30日(土) 14:00～16:00	ものづくりを楽しむ～他でつくりえないものがつくれる工場～ 講師:伊藤 直義 氏(有限会社伊藤工業 代表取締役)	25名

11月15日(木) 14:00～16:00	パワーアシスト技術の開発 講師:山本 圭治郎 氏 (神奈川工科大学名誉教授) 内田 享子 氏 (さがみロボット産業特区推進センター長)	24名
11月15日(木) 16:00～18:00	ロボット体験キャラバン 生活支援ロボットがやって来る! ※講演会後に実施したロボット体験会	35名
3月7日(木) 14:00～15:30	「手に、職。」が未来を変える。 講師:渡邊 学 氏 (かなテクカレッジ東部) 加賀江 崇 氏 (かなテクカレッジ東部)	18名
計		136名

## イ ものづくりカフェ

開催日時	テーマ等	参加人数
12月8日(土) 14:00～16:00	見えない磁気がとっても役に立つというお話 講師:仲村 高志 氏 (理化学研究所放射光科学研究センターNMR 研究開発部門 副部門長)	37名
2月9日(土) 14:00～16:00	科学を楽しく－身のまわりの現象や光触媒を中心に－ 講師:藤嶋 昭 氏 (東京理科大学名誉教授、光触媒国際研究センター長、東京大学特別名誉教授)	42名
計		79名

## ウ 社史編纂サポートセミナー

開催日時	テーマ等	参加人数
6月13日(水) 14:30～16:00	『集英社 90年の歴史』ができるまで 講師:野田 万寿夫 氏 (株式会社集英社 社史編纂室長)	40名
10月4日(木) 14:30～16:00	『明治グループ 100年史』ができるまで－創り手、読み手の視点で－ 講師:藤井 昭 氏 (明治ホールディングス株式会社 人事総務部)	35名
11月30日(金) 14:30～16:30	『京急グループ 120年史－最近の10年－』ができるまで 講師:飯島 学 氏 (京浜急行電鉄株式会社 総務部 総務課)	33名
計		108名

## エ 講演会・企業の足跡を知る

開催日時	テーマ等	参加人数
9月8日(土) 14:00～16:00	東洋製罐グループ 創立者の足跡と容器を知る 講師:蛭田 美穂 氏 (東洋製罐グループホールディングス株式会社 CSR 部 CSR コミュニケーショングループリーダー)	35名
10月12日(金) 10:30～12:00	明治の鹿島と神奈川県－明治維新前後の横浜での活躍を中心に－ 講師:小田 晶子 氏 (鹿島建設株式会社 総務部 本社資料センター・社史担当)	35名
3月9日(土) 13:30～15:00	日本のビール産業とキリンの歴史～ビール産業・キリン発祥の地、横浜を中心に～ 講師:山本 武司 氏 (キリンビール株式会社 横浜工場 総務広報担当)	35名
計		105名

## オ 大人の理科教室

開催日時	テーマ等	参加人数
10月20日(土) 10:00～11:30	光を分解してみよう 講師:国友 成 氏 (NPOブルーアース)	27名

## カ 子ども科学実験室

開催日時	テーマ等	参加人数
8月11日(土) 第1回 10:30～12:00 第2回 14:00～15:30	活性炭と食塩水で電池を作ろう！ 講師:蔵前理科教室 ふしぎ不思議(くらりか) 第1回 須藤 和冬 氏 第2回 池田 修 氏	第1回 18名(22名) 第2回 19名(19名)
計		37名(41名)

( )内は保護者

## キ エンジニアに学ぶものづくり仕事講座 (小学生から高校生を対象)

開催日時	テーマ等	参加人数
12月15日(土) 10:00～12:00	「強い鉄をつくる」平野 成三 氏 「飛行場の人工島をつくる」岸田 隆夫 氏 「コンピュータ部品をつくる」三竿 郁夫 氏 「光ファイバーをつくる」長瀬 宏記 氏 ※講師は、いずれも NPOブルーアース所属	11名(6名)

( )内は保護者

## ク 電子ジャーナルミニレクチャー

開催日時	テーマ等	参加人数
8月7日(火) 11:00~11:30	Scopus	4名
8月28日(火) 11:00~11:30	IEEE	8名
9月27日(木) 12:30~13:00	Scopus	3名
10月9日(火) 17:00~17:30	Scopus	5名
11月6日(火) 17:00~17:30	IEEE	4名
11月27日(火) 17:00~17:30	Scopus	8名
12月19日(水) 17:30~18:00	IEEE	4名
1月22日(火) 17:00~17:30	Scopus	4名
2月27日(水) 17:00~17:30	IEEE	4名
3月12日(火) 16:15~16:45	Scopus	5名
計		49名

## ケ 電子ジャーナル・データベース関連講座

開催日時	テーマ等	参加人数
5月16日(水) 14:00~16:00	移転リニューアルオープン記念 IEEE Xplore 活用セミナー 講師: Alex Liu Yupeng 氏 (IEEE Client Services Manager)	22名
7月11日(水) 15:00~16:30	Scopus の使い方 (入門) 講師: 芦田 仁 (エルゼビア・ジャパン株式会社)	18名
2月23日(土) 14:30~16:00	電子ジャーナル・データベースを頂いたおす! 講座 in 県立川崎図書館 第1回 ※講師は当館職員	28名
3月5日(火) 14:30~16:00	電子ジャーナル・データベースを頂いたおす! 講座 in 県立川崎図書館 第2回 ※講師は当館職員	28名
計		96名

## コ 図書館ガイダンス・見学会

開催日時	参加人数
9月8日(土) 16:20~17:20 ※講演会後に開催	8名
12月1日(土) 市立中原図書館 10:30~12:00 県立川崎図書館 14:00~15:30 ※市立中原図書館との合同見学会	県立川崎の参加は10名 (合計では14名)
1月10日(木) 16:00~17:10 KSP・KISTEC 特別見学会 ※館内整理日に実施	17名
計	35名

サ 図書館で学ぶ知的財産講座（後援：日本弁理士会、神奈川県弁護士会）

開催日時	テーマ等	参加人数
2月26日(火) 14:00～16:00	特許の実務～中小企業のみなさん 特許について考えてみませんか～ 講師:樋口 正樹 氏 (樋口特許事務所)	13名
3月12日(火) 14:00～16:00	営業秘密と商標～保護と活用の基本～ 講師:引地 麻由子 氏 (弁護士) 辻居 弘平 氏 (弁護士)	21名
計		34名

シ 知財セミナー（日本弁理士会との連携事業）

開催日時	テーマ等	参加人数
1月30日(水) 14:00～16:30	なぜ特許出願をするのか 講師:木下 茂 氏 (弁理士、アメックス特許事務所所長)	27名

ス 企業関係者と弁理士の知財研究会（日本弁理士会との連携事業）

開催日時	司会・進行	参加人数
9月27日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「特許の進歩性の要件:第1回」 司会・進行:保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	① 5名 ② 5名
11月29日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「特許の進歩性の要件:第2回」 司会・進行:保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	① 8名 ② 5名
1月24日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「容易の容易」 司会・進行:保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	① 7名 ② 5名
3月28日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「用途発明」 司会・進行:保科 敏夫 氏 (弁理士) 鈴木 一徳 氏 (弁護士・弁理士)	① 5名 ② 3名
計		43名

セ KISTEC 知財スクール（共催事業）

開催日時	テーマ等	参加人数
12月18日(火) 13:15～16:15	「商標登録」へ向けた手続きの実務～出願から登録まで 講師:青木 博通 氏 (ユアサハラ法律特許事務所パートナー・弁理士)	30名



## ソ 戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー（共催事業）

開催日時	テーマ等	参加人数
12月6日(木) 14:00～17:00	事例に学ぶ知的財産の重要性～知財は知れば知るほど面白い～ 講師:富岡 康充 氏 (有限会社オフィス富岡代表取締役社長)	33名

## タ かわさき知的財産スクール（後援事業）

開催日時	テーマ等
6月14日(木) 14:00～16:00	「下町ロケット」にみる中小企業の特許戦略と事業競争力のリンク 講師:鮫島 正洋 氏 (内田・鮫島法律事務所)
6月21日(木) 14:00～16:00	業務に必ず役立つ知的財産の基礎知識 講師:高橋 光一 氏 ( (公財) 川崎市産業振興財団 知的財産コーディネータ)
6月28日(木) 14:00～16:00	中小企業にとって特許は何の役に立つのか？ 講師:大畑 敏朗 氏 (クローバ国際特許事務所)
7月19日(木) 14:00～16:00	アイデアを商品にしよう！ 講師:樋田 成人 氏 (目黒国際特許事務所)
7月26日(木) 14:00～16:00	オンリーワン企業がナンバーワン企業になるための標準化 (JIS 化) 戦略 講師:野口 明生 氏 (ドライブ知的財産事務所)
8月2日(木) 14:00～16:00	弁理士さんこの発明、特許になるんでしょうか？ 講師:荒井 滋人 氏 (かもめ特許事務所) 大谷 元 氏 (大谷元特許事務所)

## 9 平成30年度 県立川崎図書館の活動評価

平成30年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。

達成	（目標値 ≥ 100%）	○
ほぼ達成	（目標値 ≥ 80%）	△
未達	（目標値 < 80%）	×

### ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

#### 【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 利用者満足度	80%	86.6%	108.1%	○
《課題・対応の方向》 ・移転再開館後の「川崎図書館の利用に関するアンケート」（5/28～6/9 「満足」「やや満足」の人数比 82.4%）及び「県立川崎図書館に関するアンケート」（11/12～11/17 「全般的な満足度」平均点を元に算出 90.75%*）から算出した。（*「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比では、94.7%であった。） ・利用者の満足が得られなかった点について検証を加えた上で、改善に努める。				
② 入館者	130,000人	68,892人	53.0%	×
《課題・対応の方向》 ・平成30年度は、年度途中で移転・再開館した。引き続き移転に関する情報や当館独自の資料やサービスについて一層の周知を図り、利用促進に努める。				
③ 教育・普及事業への参加者	1,000人	1,343人	134.3%	○
《課題・対応の方向》 ・開館60周年記念行事を中心とした多様な講演会等を開催し、参加者を増やすよう取り組む。				
④ インターネットアクセス	3,300,000件	3,787,362件	114.8%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。また、わかりやすく、使いやすいHPを目指していく。				

#### 【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤ 活用 （展示または各種メディア等で紹介した資料点数）	1,000点	1,352点	135.2%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も、図書館の利用促進につながるような展示の企画、実施に努める。				

⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に取り組む。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 研究成果の公開 (発表・印刷物等)	40件	44件	110.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員の研究活動を促し、文献執筆や講師などによる発表の機会を増やすよう努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	70件	273件	288.6%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩ 施設点検 (だれもが等しく利用できる図書館を目指す。)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・今後も障がい者、高齢者、外国人など、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう、取り組んでいく。				
⑪ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	資料への知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上に努めた。		○
《課題・対応の方向》 ・今後も、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

## イ 個別項目（5区分16項目 ⑦は2項目）

### 【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	600件	598件	99.7%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き、刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
② 資料の棄損を修理した件数 (修理件数/棄損件数)	80%	99.8% (463件/464件)	124.8%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損などの棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

### 【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③ レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール・文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む。))	6,500件	3,822件	58.8%	×
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努めるとともに、専門相談カウンターの体制を整備し、的確な対応を行う。				
④ 貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	35,000件	23,975件	68.5%	×
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応すると共に、貸出サービスの周知を図り、利用促進に努める。				
⑤ 書庫内資料出納数 (KSP書庫の資料を提供した点数)	45,000点	26,817点	59.6%	×
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに提供できるよう努める。				
⑥ 外部書庫・収蔵庫からの出納件数 (相模原書庫及び野庭収蔵庫からの取寄せ資料冊数)	7,000冊	4,135冊	59.1%	×
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに資料提供できるよう努める。				
⑦-1 電子ジャーナル等の利用件数 (利用申し込み)	1,000件	1,461件	146.1%	○

⑦-2 電子ジャーナル等の利用件数 (IEEE、Scopus文献閲覧件数)	3,000件	2,746件	91.5%	△
《課題・対応の方向》 ・調査研究に役立つ電子ジャーナル・データベース等について、周知や多種多様な利用講座等を行う。出前による広報・講習会等も行うことにより、一層の利用促進に努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数)	300件	426件	142.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスに努める。				
⑨ 県内市町村図書館等への貸出冊数	2,500冊	5,818冊	232.7%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩ 県外図書館への貸出冊数	300冊	194冊	64.7%	×
《課題・対応の方向》 ・魅力的なものづくり技術に関する資料等の収集・提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪ メディア掲載件数 (新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外部メディアに掲載された件数)	65件	77件	118.5%	○
《課題・対応の方向》 ・60周年記念行事をはじめ、魅力的な催事等を企画・実施し、計画的な広報に努める。				
⑫ テーマによる資料展示回数	10回	44回	440.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、当館所蔵資料を活用した展示について、時宜に合うテーマに留意しつつ「ものづくりギャラリー」を中心に開催する。				
⑬ 視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	70件	99件	141.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努める。				
⑭ 県内各地域の産業団体等への広報実施件数 (商工会議所、商工会や産業団体等へ出向き、川崎図書館を広報した件数)	200件	143件	71.5%	×

《課題・対応の方向》

- ・対象の団体等の範囲を拡大し、出前による当館の周知や講座など、また、該当団体等の持つ広報手段を通じた広報を積極的に行うよう努める。

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑮ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	300人	360人	120.0%	○

《課題・対応の方向》

- ・今後も、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。

# 事業統計

(平成30年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	30年度当初冊数(注1)	受 入					払 出	差 引 増 減	30 年 度 末 冊 数	分 類 別 比 率 (%)	
		購 入	寄 贈	管 理 換	編 入	そ の 他					小 計
0 総 記	15,241	72	34	0	0	1	107	88	19	15,260	5.8%
1 哲 学	297	1	3	0	0	0	4	2	2	299	0.1%
2 歴 史	5,747	2	5	0	0	1	8	13	-5	5,742	2.2%
3 社 会 科 学	14,263	26	72	0	0	3	101	235	-134	14,129	5.4%
4 自 然 科 学	53,338	146	110	0	0	8	264	10	254	53,592	20.6%
5 技 術 ・ 工 学	115,540	415	487	0	0	18	920	27	893	116,433	44.7%
6 産 業	14,353	24	42	0	0	2	68	8	60	14,413	5.5%
7 芸 術 ・ 美 術	320	4	108	0	0	0	112	2	110	430	0.2%
8 言 語	503	2	6	0	0	0	8	20	-12	491	0.2%
9 文 学	2,588	3	2	0	0	0	5	4	1	2,589	1.0%
社 史 等	19,015	7	560	0	0	2	569	3	566	19,581	7.5%
規 格	7,101	72	27	0	0	0	99	0	99	7,200	2.8%
児 童 書	10,531	0	0	0	0	0	0	34	-34	10,497	4.0%
合 計	258,837	774	1,456	0	0	35	2,265	446	1,819	260,656	100.0%
洋 書 (注2)	( 6,345 )	( 0 )	( 11 )	( 0 )	( 0 )	( 1 )	( 12 )	( 7 )	( 5 )	( 6,350 )	( 2.4% )
も の づ くり 入 門 (注2)	( 1,891 )	( 51 )	( 146 )	( 0 )	( 0 )	( 16 )	( 213 )	( 0 )	( 213 )	( 2,104 )	( 0.8% )

(注1)ものづくり入門コーナー新設のため、H29年度末冊数から変更あり。(注2)洋書とものづくり入門は( )に内数で記入。

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 新 聞

29年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	30年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集	
					購 入	寄 贈
38	6	7	-1	37	6	26

イ. 雑 誌

29年度末タイトル数(注1)	受 入	払 出	増 減	30年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集		
					購 入	寄 贈(会 費 負 担)	寄 贈
8,655	38	390	-352	8,303	387	90	1,127
( 2,174 )	( 13 )	( 0 )	( 13 )	( 2,187 )	( )	( 0 )	( 92 )

(注1) 29年度末タイトル数は、昨年度の数字から電子ジャーナル分(8タイトル)を引いている。

(注2) 洋雑誌は( )に内数で記入。

第3表 電子ジャーナル等資料の保有状況

ア. 電子ジャーナル・データベース

		契約数	内 訳
国 内		13	土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌A,B,C,D、BIO INDUSTRY、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、JdreamⅢ、JP-NET (Brand Mark Search含む)、CiNii、日経テレコン、官報情報検索サービス
海 外		3	IEEE(限定メニュー版、InnovationQ+含む)、Scopus(検索機能部分のみ)、Taylor & Francis(契約無料)

イ. 視 聴 覚 資 料

区 分	29年度末数	受 入					払 出	30年度末数
		購 入	寄 贈	管 理 換	そ の 他	計		
個 人 貸 出 用	1,272	0	0	0	0	0	1,272	
団 体 貸 出 用	ビ デ オ テ ー プ	241	0	0	0	0	241	
	D V D	76	1	0	0	1	77	
	団 体 合 計	317	1	0	0	1	318	



ウ. C D - R O M

区 分	29年度末数	受 入	払 出	30年度末数
規 格 関 連 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科 学 技 術 文 献 速 報	12	0	0	12
そ の 他	0	0	0	0
計	49	0	0	49

第4表 開館日数・入館者数

区 分	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
開 館 日 数	-	15	25	25	26	24	26	25	23	22	23	25	259
入 館 者 数	-	3,332	4,947	6,825	7,403	6,318	7,246	6,984	6,438	6,285	6,468	6,646	68,892
1 日 平 均	-	222	198	273	285	263	279	279	280	286	281	266	266.0
前 年 度 入 館 者 数	8,403	10,602	11,713	14,643	15,672	13,740	6,568	6,669	-	-	-	-	88,010
前 年 度 1 日 平 均	442.3	424.1	468.5	563.2	602.8	528.5	252.6	266.8	-	-	-	-	444.5

第5表 レファレンス件数

ア. 館内レファレンス

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計	比率(%)
質 問 件 数		-	372	535	336	356	249	388	343	282	306	262	333	3,762	100%
1 日 平 均		-	24.8	21.4	13.4	13.7	10.4	14.9	13.7	12.3	13.9	11.4	13.3	14.5	-
内 野 別	自 然 科 学	-	10	39	12	9	5	15	16	13	14	16	23	172	4.6%
	工 学 ・ 産 業	-	70	141	73	93	82	92	96	87	74	48	81	937	24.9%
	社 会 ・ 人 文 科 学	-	22	23	15	35	14	28	15	10	14	7	14	197	5.2%
	社 史	-	52	27	36	26	12	29	24	18	22	25	28	299	7.9%
	調 べ 方 案 内	-	209	298	198	189	134	221	190	153	179	164	185	2,120	56.4%
	ビ ジ ネ ス	-	9	7	2	4	2	3	2	1	3	2	2	37	1.0%
訳 方 法 別	口 頭	-	269	371	197	252	141	271	248	189	196	175	210	2,519	66.9%
	電 話	-	79	133	110	73	80	113	76	74	83	77	109	1,007	26.8%
	文 書	-	1	3	2	2	0	0	2	1	2	2	0	15	0.4%
	メ ー ル	-	23	28	27	29	28	4	17	18	25	8	14	221	5.9%
前 年 度 件 数	543	617	717	764	636	697	519	632	-	-	-	-	5,125	-	
前 年 度 1 日 平 均	28.6	24.7	28.7	29.4	24.5	26.8	20.0	25.3	-	-	-	-	25.9	-	

イ. 協カレファレンス

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
質 問 件 数		-	4	5	15	5	4	4	4	4	7	4	4	60
前 年 度 件 数		5	4	5	3	7	7	3	2	-	-	-	-	36

ウ. レファレンス 総数

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
総	数	-	376	540	351	361	253	392	347	286	313	266	337	3,822
内 訳	館内レファレンス	-	372	535	336	356	249	388	343	282	306	262	333	3,762
	協力レファレンス	-	4	5	15	5	4	4	4	4	7	4	4	60

第6表 書庫内資料の利用数

ア. K S P 書庫

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
総	数	-	2,032	1,765	2,717	2,096	1,558	2,691	4,130	2,933	2,050	1,256	3,589	26,817
1	日 平 均	-	135.5	70.6	108.7	80.6	64.9	103.5	165.2	127.5	93.2	54.6	143.6	103.5
内 訳	図 書	-	25	45	22	55	36	40	18	13	22	8	31	315
	雑 誌	-	1,975	1,473	2,245	1,522	1,353	2,470	3,940	2,720	1,642	864	3,400	23,604
	洋 雑 誌 (注)	-	(0)	(176)	(28)	(52)	(61)	(77)	(33)	(25)	(2)	(22)	(2)	(478)
	新 聞	-	10	215	384	468	149	149	134	152	338	348	134	2,481
	C D - R O M 等	-	22	32	66	51	20	32	38	48	48	36	24	417
前 年 度 総 数		5,856	4,472	7,976	4,723	4,196	6,132	3,836	5,379	27	-	-	-	42,597

(注)洋雑誌は( )に内数で記入

イ. 相模原書庫

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
取 寄 冊 数		-	262	358	254	314	235	352	287	249	304	333	324	3,272
1	日 平 均	-	17.5	14.3	10.2	12.1	9.8	13.5	11.5	10.8	13.8	14.5	13.0	12.6
前 年 度 総 数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

ウ. 野庭収蔵庫

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
総 数	取 寄 冊 数	-	54	147	65	87	56	78	54	70	87	70	95	863
	複 写 枚 数	-	77	159	70	181	56	29	42	49	109	121	85	978
前 年 度	取 寄 冊 数	60	117	52	85	70	69	33	9	-	-	-	-	495
	複 写 枚 数	63	101	126	168	63	121	38	17	-	-	-	-	697

エ. 総数

区 分	月 別	30年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	2月	3月	合 計
冊	数	-	2,348	2,270	3,036	2,497	1,849	3,121	4,471	3,252	2,441	1,659	4,008	30,952

第7表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 人数等

区分	月別	30	5	6	7	8	9	10	11	12	31	2	3	合計	前年度末
		4	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年	月		
IEEE	利用人数	-	28	24	21	32	7	28	18	16	17	23	25	239	-
	複写枚数	-	151	70	32	369	22	168	197	93	5	63	158	1,328	-
国内学会誌	利用人数	-	37	27	12	56	14	23	24	23	11	13	28	268	-
	複写枚数	-	10	116	87	149	122	37	103	81	46	235	149	1,135	-
Taylor & Francis (注)	利用人数	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	2	1	5	-
	複写枚数	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-
Scopus	利用人数	-	24	18	25	34	11	27	19	13	22	27	28	248	-
	複写枚数	-	42	3	30	29	20	46	23	21	1	37	25	277	-
JDreamⅢ	利用人数	-	21	15	17	16	13	16	12	16	7	10	13	156	84
	複写枚数	-	205	123	212	38	294	328	175	161	195	222	165	2,118	-
CiNii	利用人数	-	34	30	29	28	7	20	11	9	10	17	14	209	36
	複写枚数	-	67	72	22	37	51	69	7	0	1	55	30	411	-
JP-NET	利用人数	-	3	5	8	8	3	10	1	5	4	1	7	55	67
	複写枚数	-	8	56	158	57	88	189	1	0	246	0	296	1,099	2,373
Brand Mark Search	利用人数	-	0	3	3	3	0	4	0	2	5	0	1	21	-
	複写枚数	-	0	0	0	0	0	0	0	15	10	0	0	25	-
J-PlatPat	利用人数	-	5	3	12	10	7	6	3	0	4	5	6	61	27
	複写枚数	-	38	0	70	37	96	110	41	0	123	0	47	562	1,350
Innovation Q+	利用人数	-	4	2	2	6	1	5	2	4	1	3	3	33	-
	複写枚数	-	0	0	0	72	0	14	54	39	18	17	7	221	-
日経テレコン21	利用人数	-	8	5	6	13	4	6	6	3	4	8	9	72	20
	複写枚数	-	90	5	3	20	0	2	1	16	78	125	42	382	-
官報情報検索サービス	利用人数	-	2	8	2	2	0	0	4	1	2	0	1	22	-
	複写枚数	-	0	23	0	0	0	0	69	0	0	0	0	92	-
国会デジタル	利用人数	-	9	13	5	8	4	4	2	5	0	3	7	60	39
	複写枚数	-	53	13	3	133	0	20	0	62	0	0	29	313	257
その他 12月～追加	利用人数	-	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	5	12	-
	複写枚数	-	0	0	0	0	0	0	0	53	12	39	69	173	-
合計	利用人数	-	175	153	142	216	71	149	102	99	92	114	148	1,461	-
	複写枚数	-	664	481	617	941	693	983	671	541	735	793	1,017	8,136	-

(注) Tolor & Francis は平成30年9月よりサービス開始。

イ. 文献閲覧件数 (IEEE、Scopus)

区分	月別	30	5	6	7	8	9	10	11	12	31	2	3	合計	前年度末
		4	月	月	月	月	月	月	月	月	月	年	月		
IEEE		-	166	61	73	264	72	253	174	123	48	119	115	1,468	-
Scopus		-	228	58	80	137	48	121	99	89	103	121	194	1,278	-
合計		-	394	119	153	401	120	374	273	212	151	240	309	2,746	-

第8表 個人貸出登録者数

区分	29年度末	登録削除数	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計	30年度末
登録者数	7,056	1,502	-	292	215	216	215	128	120	100	109	110	99	131	1,735	7,289

第9表 個人貸出冊数

区分	月別	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計	分類別比率(%)	前年度貸出冊数
貸出冊数		-	1,295	2,094	2,067	2,354	2,225	2,142	2,068	2,090	2,079	1,976	2,071	22,461	100%	16,795
1日平均		-	16.4	15.7	18.8	32.2	27.8	19.0	27.2	28.2	25.0	25.7	19.0	22.3	-	84.8
内訳	一般図書	-	1,127	1,890	1,900	2,151	2,064	1,991	1,893	1,928	1,962	1,847	1,926	20,679	92.1%	14,959
	0 総記	-	60	128	171	173	209	191	201	174	184	165	185	1,841	8.2%	2,548
	1 哲学	-	7	16	37	38	42	25	21	30	26	32	23	297	1.3%	228
	2 歴史	-	18	34	47	66	53	58	38	58	49	39	42	502	2.2%	468
	3 社会科学	-	37	55	70	94	100	116	68	112	117	81	88	938	4.2%	1,028
	4 自然科学	-	393	617	530	690	571	547	670	559	663	589	724	6,553	29.2%	3,378
	5 技術・工学	-	499	904	840	870	840	810	726	776	738	732	684	8,419	37.5%	5,706
	6 産業	-	32	52	78	75	79	69	69	87	81	104	69	795	3.5%	1,029
	7 芸術・美術	-	71	61	97	93	124	106	68	87	57	53	59	876	3.9%	238
	8 言語	-	1	1	5	3	2	9	4	2	2	1	5	35	0.2%	50
9 文学	-	9	22	25	49	44	60	28	43	45	51	47	423	1.9%	286	
社史等	-	168	204	167	203	161	151	175	162	117	129	145	1,782	7.9%	1,103	
やさしい科学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	733
前年度貸出冊数		2,673	2,746	2,517	3,002	2,572	3,132	128	25	-	-	-	-	16,795	-	-
前年度1日平均		140.7	109.8	100.7	115.5	98.9	120.5	4.9	1.0	-	-	-	-	84.8	-	-

第10表 リクエストサービス

区分	月別	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計	比率(%)
総数		-	288	396	474	482	560	572	459	522	530	524	466	5,273	100%
分野別	自然科学	-	76	82	64	66	95	89	108	76	108	125	134	1,023	19.4%
	工学・産業	-	115	180	183	160	198	188	176	192	191	162	153	1,898	36.0%
	社会・人文科学	-	95	129	211	247	263	287	169	240	231	230	175	2,277	43.2%
	社史等	-	2	5	16	9	4	8	6	14	0	7	4	75	1.4%
内訳	返却待	-	164	222	219	209	229	253	217	221	239	236	231	2,440	46.3%
	購入	-	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.1%
	他館から借受	-	92	121	199	232	275	271	209	254	233	237	188	2,311	43.8%
	( 県立 )	-	(91)	(115)	(190)	(218)	(238)	(242)	(181)	(236)	(215)	(224)	(173)	(2,123)	( 40.2% )
	( 市町村 )	-	(1)	(5)	(5)	(5)	(23)	(27)	(17)	(13)	(16)	(8)	(7)	(127)	( 2.4% )
	( 県内機関その他 )	-	(0)	(0)	(1)	(0)	(7)	(2)	(8)	(4)	(1)	(3)	(0)	(26)	( 0.5% )
	( 県外 )	-	(0)	(1)	(3)	(9)	(7)	(0)	(3)	(1)	(1)	(2)	(8)	(35)	( 0.7% )
取消等	-	32	53	54	40	56	48	33	47	58	51	47	519	9.8%	
前年度総数		469	582	632	620	555	742	117	35	-	-	-	-	3,752	-

※ ( ) は内数

第11表 複写サービス

区 分	月 別	30年												合 計	比率(%)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月			
総 数	人 数	—	283	397	358	349	273	340	327	281	282	251	301	3,442	100%	
	枚 数	—	7,256	7,807	8,064	8,584	6,094	8,190	7,428	6,989	6,839	5,788	7,452	80,491	100%	
1日平均	人 数	—	3.6	3.0	3.3	4.8	3.4	3.0	4.3	3.8	3.4	3.3	2.8	3.4	—	
	枚 数	—	91.8	58.7	73.3	117.6	76.2	72.5	97.7	94.4	82.4	75.2	68.37	79.9	—	
内 訳	コ ン ピ ュ ー ー	人 数	—	205	284	264	251	207	248	247	206	202	183	215	2,512	73.0%
		枚 数	—	5929	6478	6470	6629	4494	6568	6013	5573	5428	4293	5538	63,413	78.8%
	デ ー タ ベ ー ス 等 (注)	人 数	—	44	42	43	47	29	41	30	31	34	34	37	412	12.0%
		枚 数	—	651	662	985	1167	1088	1056	961	680	980	1018	1209	10,457	13.0%
	国 際 デ ジ タ ル	人 数	—	3	2	2	5	0	1	0	2	0	0	1	16	0.5%
		枚 数	—	53	13	3	133	0	20	0	62	0	0	29	313	0.4%
	郵 送	人 数	—	29	68	49	46	34	50	49	42	45	33	48	493	14.3%
		枚 数	—	542	653	606	655	498	546	441	674	425	469	676	6,185	7.7%
	ファクシミリ	人 数	—	2	1	0	0	3	0	1	0	1	1	0	9	0.2%
		枚 数	—	81	1	0	0	14	0	13	0	6	8	0	123	0.1%
	前年度総数	人 数	513	526	630	605	515	646	419	568	17	—	—	—	4,439	—
		枚 数	15,250	14,982	18,865	14,720	17,620	18,382	13,132	19,950	382	—	—	—	133,283	—

(注) データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第12表 講習会・講座・講演会等

区 分	月 別	30年												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	
開 催 回 数		—	1	6	4	5	4	4	6	6	4	4	6	50
参 加 人 数		—	22	99	234	290	56	102	117	135	60	87	115	1,317
前年度	実 施 回 数	0	0	5	4	4	7	—	—	—	—	—	—	20
	参 加 人 数	0	0	266	72	117	179	—	—	—	—	—	—	634

### 第13表 知的財産関連相談件数

#### ア. 発明相談

区分	月別	30年												31年	合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数		-	0	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	19
実施回数		-	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
利用者数		-	0	0	1	2	2	1	1	2	1	0	0	10	
相談件数		-	0	0	1	2	2	1	1	2	1	0	0	10	
内訳	特許・実用新案	-	0	0	1	2	2	0	1	2	1	0	0	9	
	意匠・商標	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	分類・調査・制度他	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前年度開催数		1	1	1	1	0	1	1	1	-	-	-	-	7	
前年度実施回数		1	1	1	1	0	1	0	1	-	-	-	-	6	
前年度利用者数		2	4	2	2	0	2	0	0	-	-	-	-	12	
前年度相談件数		3	4	3	2	0	2	0	0	-	-	-	-	14	

※ 実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

#### イ. 創業・経営相談

創業・経営相談	月別	30年												31年	合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数		-	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
実施回数		-	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	1	6	
利用者数		-	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	1	7	
相談件数		-	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	1	7	
前年度開催数		2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	16	
前年度実施回数		0	2	2	0	1	2	1	0	-	-	-	-	8	
前年度利用者数		0	3	2	0	1	4	2	0	-	-	-	-	12	
前年度相談件数		0	3	2	0	1	4	2	0	-	-	-	-	12	

#### ウ. 知的財産相談

知的財産相談	月別	30年												31年	合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数		-	0	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	18	
実施回数		-	0	1	2	2	0	1	1	0	0	1	0	8	
利用者数		-	0	1	2	3	0	1	1	0	0	1	0	9	
相談件数		-	0	1	2	3	0	1	1	0	0	1	0	9	
内訳	特許・実用新案	-	0	1	2	3	0	0	1	0	0	0	0	7	
	意匠・商標	-	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	
	分類・調査・制度他	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
前年度開催数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前年度実施回数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前年度利用者数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前年度相談件数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### 第14表 視聴覚資料の貸出状況

#### ア. 個人

区分	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計
科学技術ビデオ	-	0	0	0	2	1	0	7	0	0	0	0	10
県立図書館所蔵資料	-	33	45	162	122	162	186	135	139	151	141	228	1,504
計	-	33	45	162	124	163	186	142	139	151	141	228	1,514
前年度総数	216	244	290	264	308	399	44	7	-	-	-	-	1,772

(注)11月の科学技術ビデオ7点はビジネス関連ビデオ4点が含まれる。

#### イ. 団体

区分	29年度末	期限切れ	30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	年度合計	30年度末
登録者	176	97	-	7	15	12	4	3	6	5	6	3	1	5	67	146

区分	30年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		31年1月		2月		3月		合計	
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数
ビデオ	-	-	0	4	12	9	0	10	6	9	2	3	1	56												
DVD	-	-	47	41	67	14	48	39	25	40	7	14	38	386												
上映回数	-	-	76	62	168	38	83	101	66	93	40	10	70	807												
参加人数	-	-	1,307	1,713	3,727	1,199	1,136	3,520	991	1,774	952	266	741	17,326												
前年度	ビデオ	25	14	32	13	20	26	3	13	11	-	-	-	100												
	DVD	58	49	89	98	53	82	34	-	-	-	-	463													
	上映回数	104	86	149	248	152	120	112	-	-	-	-	971													
	参加人数	1,531	1,399	3,805	5,916	3,371	2,827	3,844	-	-	-	-	22,693													

### 第15表 他の図書館等への貸出状況

区分	月別		30年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	合計
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数
公共図書館	-	-	567	605	552	640	473	624	570	473	574	465	570	6,113	
機関	県立図書館	-	109	125	98	141	105	96	119	76	136	91	135	1,231	
	市町村立図書館等	-	96	131	140	145	121	140	128	107	143	129	147	1,427	
	県外の図書館	-	20	20	19	13	24	20	12	17	18	9	16	188	
	横浜西口カウンター	-	313	294	277	298	206	336	284	251	266	210	249	2,984	
関係	企業ライブラリー等	-	13	24	4	19	12	15	11	2	2	15	18	135	
	高校連携	-	4	7	7	17	3	13	8	6	6	6	1	78	
	大学	-	7	2	1	5	2	3	5	10	1	2	3	41	
	行政支援	-	4	2	5	2	0	1	3	3	0	2	1	23	
	NACSIS-ILL	-	1	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0	6	
	前年度貸出冊数	531	779	704	620	725	795	86	6	-	-	-	-	4,246	

第 16 表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 35 年度	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819

第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数

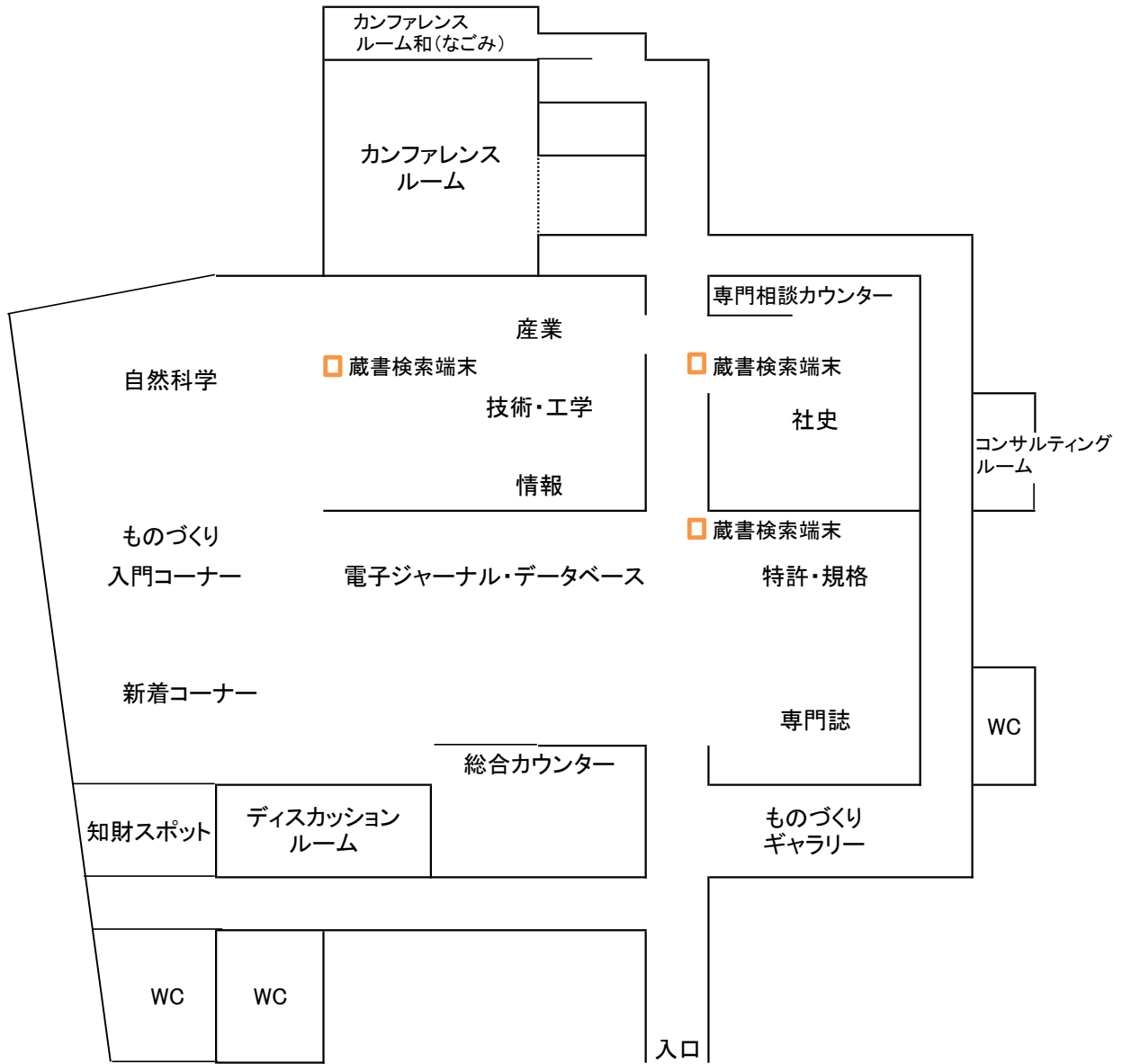
	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 35 年度	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 ( 134 )	139,462 ( 27,648 )	103,860 ( 36,670 )
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	36,921
28	294	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461

- ・ 昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は( )内に内数で記入。
- ・ 平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館。
- ・ 平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館。
- ・ 平成30年度は、KSPにおける開館準備のため5月中旬まで休館。

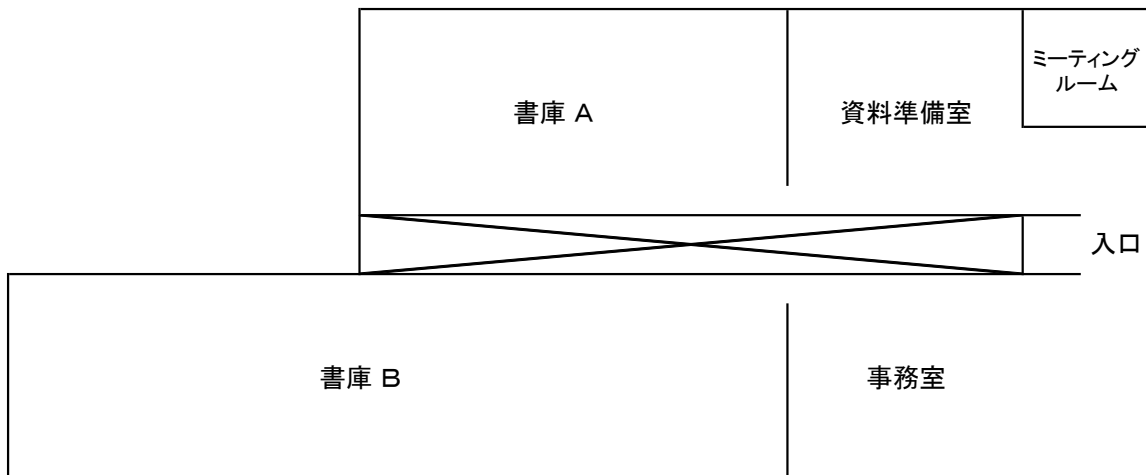


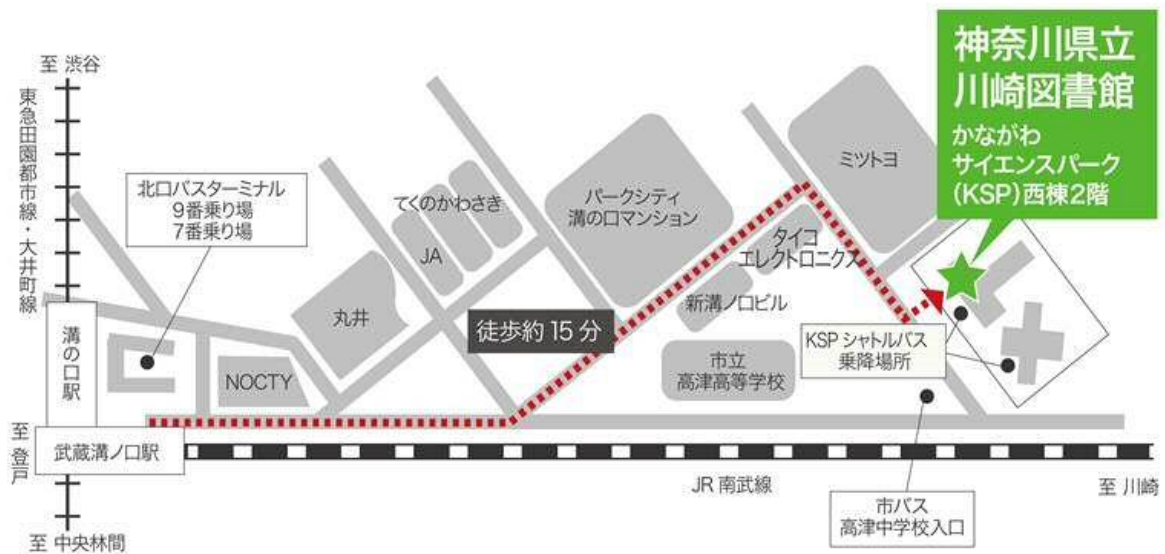
# 館内案内図

## ○図書館(西棟2階)



## ○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車  
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス（平日：午前10時以降、土祝休日：始発から）  
溝ノ口駅 北口バスターミナル9番乗り場から「KSP行き」（直通）約5分

②市営バス

溝ノ口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から

溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統 いずれも「高津中学校入口」

下車徒歩1分

令和元年度

## 神奈川県立川崎図書館要覧

令和元年8月16日発行

編集・発行

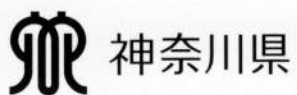
神奈川県立川崎図書館

館長 堀端 保聖

川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

電話 (044) 299 - 7825 (代表)

FAX (044) 322 - 8878



神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話 (044) 299-7825 (代表)